

日本紅斑熱の発生について

市内において、日本紅斑熱(4類感染症)の発生届がありましたので、北九州市感染症公表要領に基づきお知らせいたします。

- 概要** 令和6年5月23日(木)、市内B医療機関(門司区)から北九州市保健所に日本紅斑熱の届出があった。
- 患者情報** 門司区在住、60代、女性(虫に咬まれた痕は確認できず)
- 経過** 4月28日(日) 発熱(40℃台)あり。
4月30日(火) 発熱、頭痛、嘔気、倦怠感、下痢のため、A医療機関受診。
5月1日(水) 全身に発疹あり。
5月2日(木) 症状継続のため、B医療機関受診し、入院となる。
血液検査実施。血小板減少、白血球減少等あり。
北九州市保健所に検査依頼あり。
5月8日(水) 症状改善のため、退院。
5月23日(木) 宮崎県衛生環境研究所で実施した検査で日本紅斑熱と判明。【5/2、5/17の血液検査(ペア血清)】
- 現在の状況** 症状なし。
- 感染原因** 不明。
- 行政対応** 患者に対する健康調査の実施。
- 日本紅斑熱の北九州市への届出状況(単位:人)**

(令和6年5月24日現在)

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
発生届出数 (単位:人)	2	0	2	0	0	1 (本件を含む)

8 その他

- 患者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、提供資料の範囲内にさせていただきます。ご理解の上、特段のご配慮をお願いいたします。
- 本市においては、別添「《日本紅斑熱について》の予防のポイント」について市民の皆様呼びかけています。
報道各位におかれても、別添「《日本紅斑熱について》の予防のポイント」の内容の周知にご協力いただきますようお願いいたします。

9 日本紅斑熱について 別添参照

《日本紅斑熱について》

➤ 日本紅斑熱とは

日本紅斑熱は、日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニ(キチマダニ、フタトゲチマダニなど)に咬まれることで感染します。日本では、1984年に初めて患者が報告されました。発生時期は、マダニが活動する春～秋ですが、気候などで地域差が見られます。

➤ 症状

マダニに咬まれてから2～8日頃から頭痛、全身倦怠感、高熱などを伴って発症します。発熱、発疹(米粒大から小豆大の紅い斑点)、および刺し口(マダニ類に刺された部分が直径5～10mm程度に赤く腫れ、中心部に黒いカサブタや潰瘍のようになったもの)が主要三徴候です。重症化して死亡することもあります。

➤ 感染経路

野山などで、紅斑熱群リケッチアの一種 *Rickettsia japonica* を保有するマダニに咬まれることによって、感染します。

➤ 予防のポイント

- ・山林、草地、川原などに入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくしましょう。
- ・屋外活動後は、マダニが衣類や身体についているかもしれないため、速やかに入浴し、念入りに身体を洗い流しましょう。

【市民の皆さまへ】

- ・山林、畑や河川敷に行った後に、頭痛やだるさが強く、高熱が続いたり、発疹が出たりした場合には、早めに医療機関を受診してください。
- ・マダニ咬まれたときは、無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。
- ・また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

「ダニ」にご注意ください



山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう



春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

●肌の露出を少なくする

⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

●長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する

⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

●足を完全に覆う靴を履く

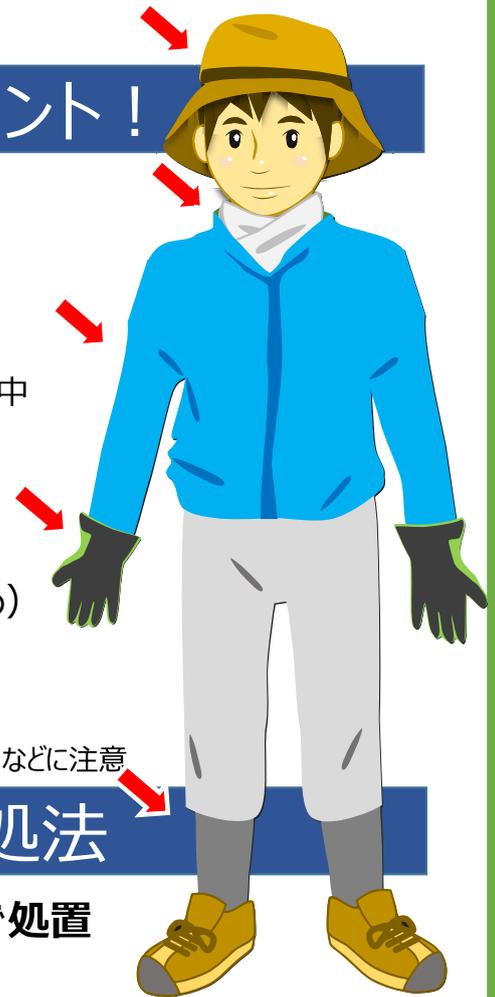
⇒サンダル等は避ける

●明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）

* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



ダニに咬まれたときの対処法

●無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

●マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください

